

協会の活動内容

当協会では、北九州港の振興活動や広報宣伝活動を実施し、北九州港と地域経済の発展に寄与するさまざまな事業を展開しています。

① オリエンテーション 4月

当協会会員である港湾関係企業の新入社員等を対象とした、門司税関、九州地方整備局、九州運輸局、北九州市港湾空港局など関係官公庁の協力による海事関係事業の説明会です。



② 第55回通常総会 5月



③ 港湾整備事業説明会 6月

当協会会員である港湾関係の事業者を対象に、九州地方整備局及び北九州市港湾空港局の協力のもと、当該年度の港湾整備事業についての説明会です。



④ 関門港ポート天国 7月

7月の海の日を中心に、門司港レトロ地区で展開する事業の一つです。全国から約300人のスポーツマン、スポーツウーマンが参加するスイム&ランなどの事業を開催しています。



⑤ 海の日表彰式典 7月



⑥ 港内美化事業 8月

未来へきれいな海、海岸を引き継ぐことを目的に、港湾関係団体と共同で清掃活動を実施します。

ウォーターフロントクリーンマナーアップ作戦



⑦ 関門海峡クルージング 8月

7月の海の日を中心とした様々な事業、そして令和元年度に認定された「みなとオアシス門司港」の関連事業として、例年、8月下旬に公募により、約1,000人が参加する大型フェリーを活用した関門海峡のクルージングと船内でのイベントです。



⑧ スナQファンミーティング 10月

北九州港のマスコットであるスナQとファンの方々とのふれあいミーティングです。



⑨ 130周年記念式典 11月

令和元年11月16日に、北九州港開港130周年の節目を多くの関係の皆様とお祝いしました。



⑩ みなとオアシス認証式 11月

北九州港開港130周年にあわせ、門司港レトロ地区にある16の施設によるみなとオアシス門司港が、国土交通省のみなとオアシスに登録されました。



⑪ 130周年・港湾セミナー

北九州港開港130周年の記念イベントとして、（一財）みなと総合研究財団の理事長である山縣宣彦氏（北九州市港湾空港局長、国土交通省港湾局長等を歴任）による「みなとまち北九州、30年後の夢」と題した港湾セミナーを開催しました。



⑫ 130周年記念錨ペイント 11月

北九州港開港130周年を記念して、港湾空港局庁舎前にあるに錨のモニュメントにペインティングをしました。



⑬ 海外ポートミッション 11月



⑭ 新年賀詞交歓会 1月

港湾関係7団体（関門港運協会、小倉地区港運協会、八幡港友会、洞海港運協会、水曜会、門司エーゼント会、北九州港振興協会）による合同賀詞交換会を開催しました。



⑮ 役員・会員交流サロン 2月



⑩ 練習船寄港 通年



⑪ 西海岸・クルーズ船おもてなし

海外及び国内からのクルーズ客船や官庁関係の船舶が北九州港に寄港した際に、地元の様々な方々の協力を得て催しているおもてなし事業です。



⑱ ひびきクルーズ船おもてなし 通年



⑲ ポートアテンダント活動 通年（令和2年9月30日で終了）



⑳ スナQ広報業務 通年



■ 船員、港湾労働者など、海事・港湾関係者のための福利厚生事業を実施しています



戸畑船員サービスセンター

■ 北九州港港湾調査データ作成業務



■ 駐車場事業

海運港湾事業従事者、観光客の利便を確保するため、北九州市用地を借り受け有料駐車場として管理・運営をしています。

